

5. まとめ

まとめ

【回答者属性】

回答者の49.2%が「関東」からの来県で、次いで「近畿」の18.5%、「中部」の12.7%、「東北」の6.7%、「九州」の5.7%、「北海道」の4%、「中国」の2.5%、「四国」の0.8%という構成比になっている。

令和5年度調査と比べ地域構成に大きな変化は見られない。性別では「男性」55.3%、「女性」44.7%と女性より男性の割合が多い結果となった。

年代別では「40代」「50代」がそれぞれ20%を超える、「60代」が19.5%、「30代」が17.3%となっている。

同伴者は「夫婦」が最も多く25.2%、次いで「子供連れ家族」の21.0%、「一人」の19.7%と続いている。

令和5年度那覇市調査と比べると「夫婦」「恋人・パートナー」、「子供連れ家族」「三世代（親子孫）家族」「その他家族（両親兄弟など）」「女性グループ」が増加している。

【旅行実態】

旅行目的は「観光」中心。男性は「ビジネス」、女性は「保養・休養」も多い

旅行目的として最も回答が多かったのは「観光」で67.7%、次いで「保養・休養」の7.2%、「ビジネス・研修」の6.0%と続く。

性別で見ると、「ビジネス・研修」は男性の9.3%に対して女性は1.9%と大きく異なっている。一方で「保養・休養」は女性が男性よりも4.6ポイント高くなっている。

それ以外では「ワーケーション」が男性2.7%に対して女性は3.7%、「記念旅行」が男性が3.9%に対して女性は5.6%と傾向に差が見られる。

年代別に見ても、傾向に大きな差は見られない。

旅行日程は男性は「休暇が取りやすい時期」、女性は「家族の休暇に合わせて」で決定

旅行日程を決定した主な理由は「休暇が取りやすい時期」が26.3%と最も高く、次いで「家族の休暇に合わせて」の17.2%、「旅行の主な目的に適した時期」の16.8%、「価格が手頃」の13.5%の順になっている。

旅行日程を決定した要因を令和5年度調査と比較すると、「家族の休暇に合わせて」が2.5ポイント増え、「旅行の主な目的に適した時期」が2.3ポイント減少している。

性別で見ると、男性、女性ともに「休暇が取りやすい時期」の割合が最も高く、女性は「家族の休暇に合わせて」も22.8%と高い傾向にある。

年代別に見ると、20代、40代、50代がそれぞれ「休暇が取りやすい時期」が最も多く、年代が高くなるにつれて「旅行の主な目的に適した時期」の比率が高くなっている。

【那覇市について】

那覇市への宿泊回数は1～3回目がそれぞれ2割程度

令和5年度調査と比べて那覇市への宿泊は「初めて」が19.7%と16.8ポイント増加している。

性別でみると、男性は女性に比べて「10回以上」のヘビーリピーターが多い傾向にある。

年代別にみると、年代が上がるにつれ来訪回数が多くなる傾向にあり、60代では訪問回数「10回以上」のヘビーリピーターの割合が最も高い。

宿泊時期は2泊目以内が4割程度

那覇市内での宿泊時期について「2泊目」が42.8%と最も多く、次いで「1泊目」の39.3%が続き、3泊目以降は2割以下となっている。

性別で見ると、「2泊目」は女性より男性で5.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、那覇市の宿泊時期は20代～50代で「2泊目」が4割を超える。

宿泊施設は「シティホテル」が52.0%を占め、次いで「ビジネスホテル」の24.3%となっている。

性別で見ると、女性は男性よりも「シティホテル」が、男性は女性よりも「ビジネスホテル」の利用が多くなっている。

年代別に見ると、年代が高まるにつれて「シティホテル」を利用する比率が高くなる傾向にある。

宿泊理由は「空港から近い」

那覇市内への宿泊理由は「空港から近い」が最も多く35.3%、次いで「周辺施設の充実性」の33.2%、「県内の移動の利便性」の32.2%と続いている、性別や年代別でも大きな差は見られない。

市内の移動手段は「レンタカー」が最も多く51.8%と半数以上の人人が利用し、次いで「モノレール」の42.8%、「路線バス」の19.9%と続いている。令和5年度調査と比較すると「レンタカー」が2.2ポイント減少し、「モノレール」が3.7ポイント増加している。

性別で見ると、女性は男性よりも4.3ポイント多く「レンタカー」を利用する傾向がある。

年代別に見ると、どの年代においても「レンタカー」の比率が2割を超える傾向が見られる。

滞在中必要な情報は「飲食店」

滞在中に入手した情報は「飲食店」が最も多く、4割以上の人人が情報を入手している。

女性の方が男性より多く情報を収集する傾向がみられる。

旅行形態は「個人旅行」が過半数

旅行形態は「個人手配旅行でマイレージ利用なし」と「個人手配旅行でマイレージ利用あり」が78%と約8割を占めている。令和5年度の那覇市と比較すると、「個人旅行」「フリープラン型のパッケージ旅行」の比率が減少し、「観光つきのパッケージ旅行」が増加している。

市内消費額は一人当たり77,636円

那覇市内で支出した費用は77,636円で、令和5年度那覇市調査と比べ6,407円増加した。

支出項目を令和5年度那覇市調査と比較すると、「その他」以外の項目は全て増加となっている。

那覇市滞在中に体験した最も多いコンテンツは街歩き散策

那覇市に滞在中に体験したコンテンツは「体験していない」が29.3%で最も高く、次いで「街歩き散策コンテンツ」26.2%、「マリンアクティビティ」22%と続く。

性別で見ると、女性の方が「体験していない」が男性より4.7ポイント高い。

年代別で見ると、50代と60代で「体験していない」が25%を超えており、他の年代と比較して高くなっている。

活動内容に対しての満足度は「満足」と「やや満足」を合わせると93.8%が満足している。

次回体験したいコンテンツについて、「マリンアクティビティ」が26.7%で最も高く、次いで「伝統工芸体験」「食の体験コンテンツ」の25.5%、「街歩き散策コンテンツ」の24.5%と続く。

性別でみると、「街歩き散策コンテンツ」は女性よりも男性のほうが5.8ポイント高い傾向にある。